

# お風呂をしゅわしゅわにしよう

しらべたいことがわかるような  
タイトルをつけよう。

なまえをわすれずに書こう。

年 組 なまえ ( )

## 結果

じっけんのけっかだけを書く。  
表やグラフ、しゃしんをつかうとわかりやすいぞ。

しゅわしゅわと泡<sup>あわ</sup>が出てきた。おなじように、ペットボトルに入れた水<sup>みづ</sup>に食用<sup>じょうよう</sup>の重<sup>じゅう</sup>そうとクエン酸<sup>くえんさん</sup>を入れてとかしたら、炭酸水<sup>たんさんすい</sup>ができた。



## きっかけ

どうしてしらべようと思ったのが、  
きっかけになったことを書こう。



しゅわしゅわと泡<sup>あわ</sup>をふく温泉<sup>おんせん</sup>に入った。おもしろくて気持ちよかったので、うちのお風呂でもおゆをしゅわしゅわさせてみたいとおもった。

## 実験のやり方

つかったものや、しらべるやり方  
を書こう。絵やしゃしんもつかうと  
わかりやすいぞ。

食用<sup>じょうよう</sup>の重<sup>じゅう</sup>そうとクエン酸<sup>くえんさん</sup>をまぜて、バスボムをつくる。できあがったバスボムをお風呂のおゆに入れる。

## わかったこと

けっかからわかったこと、かんがえたことを書く。  
予想とちがったときは、どうしてそうなったのか  
かんがえてみよう。

重<sup>じゅう</sup>そうとクエン酸<sup>くえんさん</sup>をいっしょに水<sup>みづ</sup>に入れると、泡<sup>あわ</sup>が出てくる。

## 予想

しらべる前に、けっかを予想して書く。  
予想した理由も書こう。

バスボムをお風呂<sup>ふろ</sup>に入<sup>い</sup>れると泡<sup>あわ</sup>が出てくるとおもう。

## まとめ

けっかとわかったことをまとめて、  
つぎにしらべたいことを書こう。

重<sup>じゅう</sup>そうとクエン酸<sup>くえんさん</sup>は水<sup>みづ</sup>の中で反<sup>はん</sup>応<sup>おう</sup>してしゅわしゅわ泡<sup>あわ</sup>を発生<sup>はっせい</sup>させる。泡<sup>あわ</sup>の正<sup>せい</sup>体<sup>たい</sup>は二<sup>に</sup>酸<sup>さん</sup>化<sup>か</sup>炭<sup>たん</sup>素<sup>そ</sup>という、吐<sup>は</sup>く息<sup>いき</sup>にも入<sup>い</sup>っている空<sup>くう</sup>気<sup>き</sup>の成<sup>せい</sup>分<sup>ぶん</sup>。食用<sup>じょうよう</sup>の重<sup>じゅう</sup>そうとクエン酸<sup>くえんさん</sup>を使<sup>つか</sup>えば、ラムネをつくれることもわかった。つぎはラムネもつくってみたい。